

アルファ・ラバル オンラインセミナー（ウェビナー）ご質問回答

ご参加の皆様、たくさんのご質問ありがとうございました。

掲載しましたご質問への回答は、以下に示しますので、ご参照ください。

その他、ご不明点、ご質問ございましたら、アルファ・ラバルの営業担当者までご連絡ください。

テーマ：バラスト水処理装置 PureBallastの最新動向

実施日時：2020年5月27日（水）

No.	ご質問	アルファ・ラバル回答
1	PureBallast 2 以前の処理装置を搭載した船舶に対するIMO及びUSCG承認取得についての見直しをご教示ください	PureBallast 1 (IMO) : IMO型式承認取得しておりUpgradeなども必要ありません。 PureBallast 1 (USCG) : USCG承認取得の予定は有りません。 PureBallast 2 (IMO) : IMO型式承認取得しておりUpgradeなども必要ありません。 PureBallast 2 (USCG) : 船上、陸上試験等は完了しており、2020年Q3までの取得を目指しております。
2	デッキハウスは発注対象外としブースターポンプのみの発注は可能ですか？	弊社PureBallastをご採用いただければ可能です。
3	Bulk Fit と通常のシステムの価格差をご教示お願いします	約10%程度の価格差となりますが、型式により多少異なりますので、具体的な型式にて情報必要であればお見積致します。
4	マニラにおける船員訓練施設につき、概要をご教示ください	弊社提携の船員養成、教育機関でのトレーニングになります。バラスト水処理装置に関しては模擬海水を使用した機器の実際の運転、メンテナンス方法等になります。実機を用いたトレーニングは日数、最適人数等の規定はございますが、座学および機器見学のみなど、参加人数、時間によってアレンジ致します。バラスト水処理装置以外の弊社機器(熱交換器、油清浄機等)に関しても、トレーニング可能です。
5	IMOが要求するであろうサンプリングと分析は、搭載時 1回だけでいいですか？ それとも毎年ですか？	現在の要求は、搭載時(コミッションング時)の試験1回となります。今後、現在の経過観察期間を過ぎた段階で、各港でのPSCによるバクテリアテストに関しても協議されており、将来的に実施される可能性があります。
6	バラスト水のサンプリングの所掌は、船主、メーカー、ドックのどこになりますか？	所掌自体に特に決まりは有りませんが、独立性を求められますので分析自体をメーカーの設備等で行う事はできません。外部の分析会社へ発注となる場合、過去の案件ですと海外レトロフィットの場合は船主様・管理会社様に手配いただくケースが殆どです。国内新造船では造船所もしくはメーカーのどちらかになる事が多いです。
7	PureBallast 2のUSCG対応に際し、どの程度の機器換装を想定する必要がありますか？ 例：フィルター換装、UV増設、流量の絞りなど	本件は未だ承認を取得しておりませんので、確定事項では無い事ご留意いただくとして下記対応が必要となる見込みです。 ・ 流量計の交換 (Conductivity Sensor付きの流量計に交換) ・ UV Sensorの追加 ・ ソフトウェアのUpdate ・ 銘版の交換もしくは追加での取付 ・ 取扱説明書の差し替え
8	搭載時と寄港時のサンプリング分析について、それぞれIMOでどこまで決まっているかご教示ください。	搭載時のサンプリングに関しましてはMEPC74にて簡易手法 (Indicative analysis) によって分析・検査を行う事を2021年10月以降義務付ける内容にて既に承認されております。PPR7で提案された改訂内容の検討も含め、次回のMEPC75 (コロナの影響で本年秋に延期) にて採択される予定です。 それに先立ち、オーストラリアやシンガポールなどでは既に搭載時のサンプリング試験を要求しております。
9	サンプル分析は御社が行い、また他社製品より取ったサンプルを御社で分析はできるのでしょうか？	弊社ではサンプルの分析自体は行っておりません。また、他社製品より取水したサンプルの分析も行っておりません。サービスパッケージに含まれるサンプリング (USCG) に関しては、弊社技師が取水まで行いますが、分析自体は第三者機関で行い証書が発行されます。実際の細かな取水方法などは分析会社との打ち合わせによって決まりますので、取水から分析会社が行うケースもあります。
10	デッキ上に装置がある場合、コンテナ内が非常に高温または低温、過湿状態になると思いますが。どのような対策を取られているかご教示いただけませんか？	ヒータやファンなどを設置する事により、弊社バラスト水処理装置の設計条件を満たせるように考慮しております。

2020年6月1日（月）発行